

令和4年度 下水道事業会計決算概要

生活環境の向上や河川等公共用水域の水質保全を図るための汚水対策事業、並びに雨水の排除による浸水の防除を行う雨水対策事業を、計画的に実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

1. 経営成績について

営業損失 3,195,289,106円、経常利益 1,165,469,783円、当年度純利益 1,165,744,409円となりました。

2. 財政状態について

令和4年度末における財政状態は、資産の部合計 235,271,641,836円、負債の部合計 169,267,320,404円、資本の部合計 66,004,321,432円となりました。

3. 建設改良事業について

四日市市総合計画に基づく推進計画に従い、汚水の処理区域の拡大並びに雨水の浸水対策等下水道施設の整備拡充を図りました。

- ・雨池ポンプ場No.2 雨水ポンプ設備更新工事
- ・塩浜第1ポンプ場電気設備更新工事
- ・大井の川ポンプ場電気設備更新工事
- ・日永浄化センター第2系統管路耐震補強工事 等

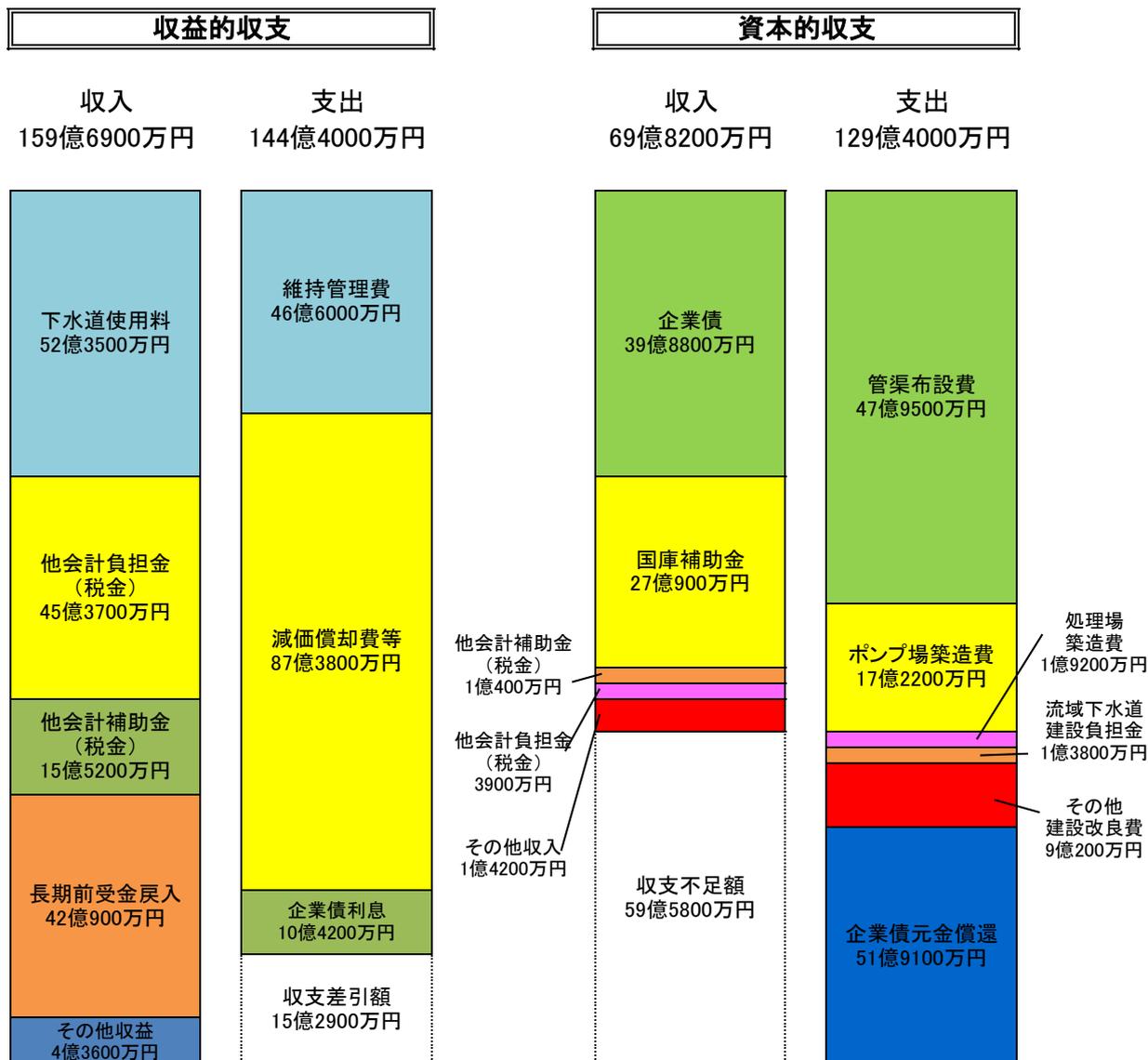
4. 普及状況

令和5年3月31日現在

項 目		令和4年度	令和3年度	差引増減
行政区域内人口 A	人	308,752	309,338	△ 586
処理区域面積	ha	4,902.0	4,834.7	67.3
処理区域内戸数 B	戸	118,991	116,808	2,183
処理区域内人口 C	人	251,666	249,091	2,575
水洗化戸数 D	戸	111,801	109,686	2,115
水洗化人口 E	人	236,182	233,574	2,608
人口普及率 C/A	%	81.5	80.5	1.0
水洗化普及率 D/B	%	94.0	93.9	0.1
水洗化率 E/C	%	93.8	93.8	0.0
供用1年後の水洗化率	%	94.8	94.0	0.8
有収水量	m ³	25,412,422	25,512,200	△ 99,778
雨水排水整備済面積	ha	2,920.0	2,920.0	0.0

5. 財政状況

※税込



《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、下水道を利用される皆様にご負担いただく下水道使用料が33%、雨水の排除や浸水の防除のために一般会計から受け入れる他会計負担金（税金）が28%、汚水処理の経費のうち一般会計負担となる他会計補助金（税金）が10%、施設等を建設する際に過去に受け入れた国庫補助金等の減価償却費相当分である長期前受金戻入が26%となっています。

支出 施設・設備の維持管理費32%、減価償却費等61%、企業債の利息7%という構成比になっています。

《資本的収支》

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金の財源です。その内訳は企業債が57%、国庫補助金等が38%、汚水処理にかかる他会計補助金（税金）が2%、雨水処理にかかる他会計負担金（税金）が1%、その他（受益者負担金等）が2%となっています。

支出 管渠、ポンプ場、処理場などの建設・改良の費用等が60%、企業債の元金償還が40%となっています。なお、収支不足額は、前年度の利益や減価償却費などで補填しています。

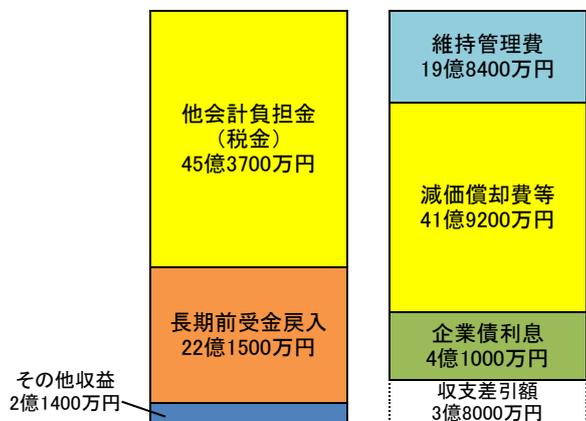
財政状況を雨水・汚水別にするると以下の通りです。

雨水

※税込

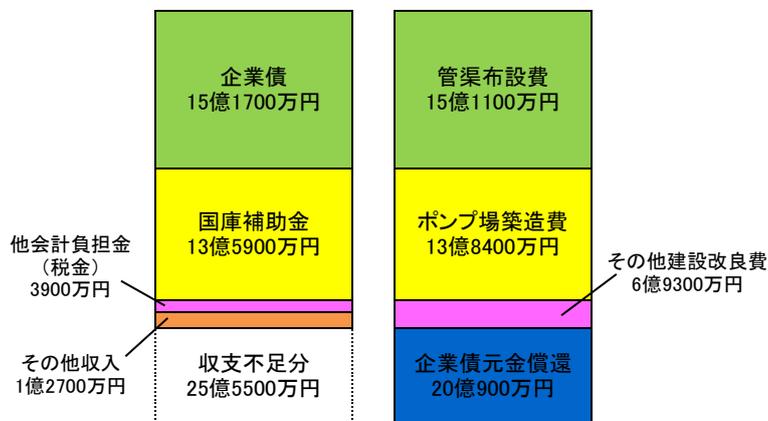
収益的収支

収入 69億6600万円
支出 65億8600万円



資本的収支

収入 30億4200万円
支出 55億9700万円

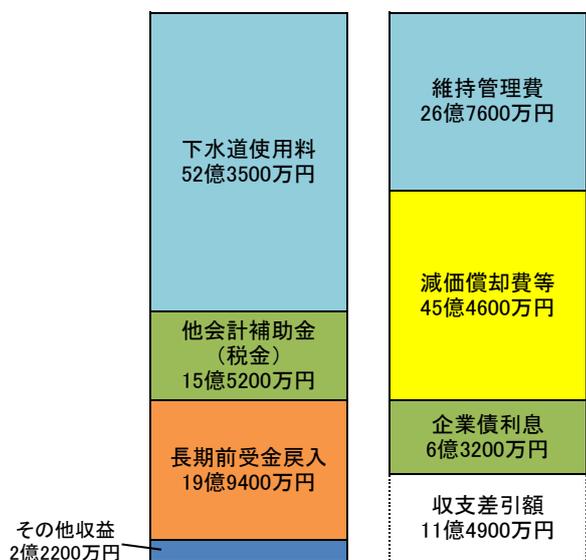


汚水

※税込

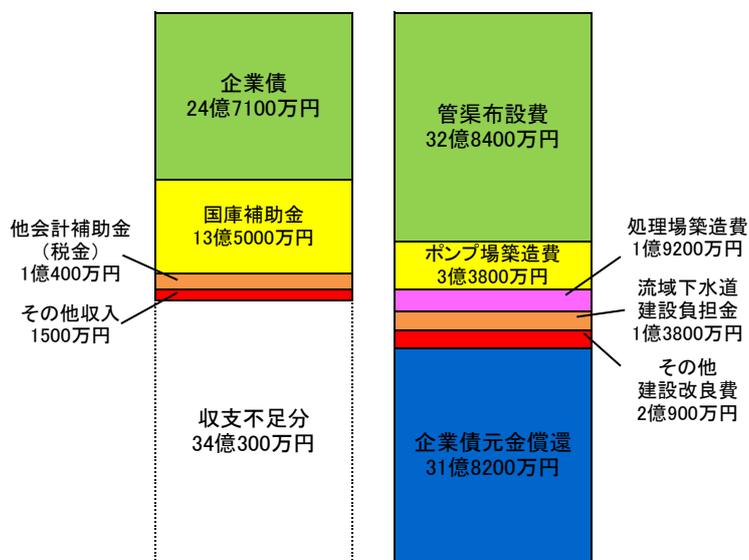
収益的収支

収入 90億300万円
支出 78億5400万円



資本的収支

収入 39億4000万円
支出 73億4300万円

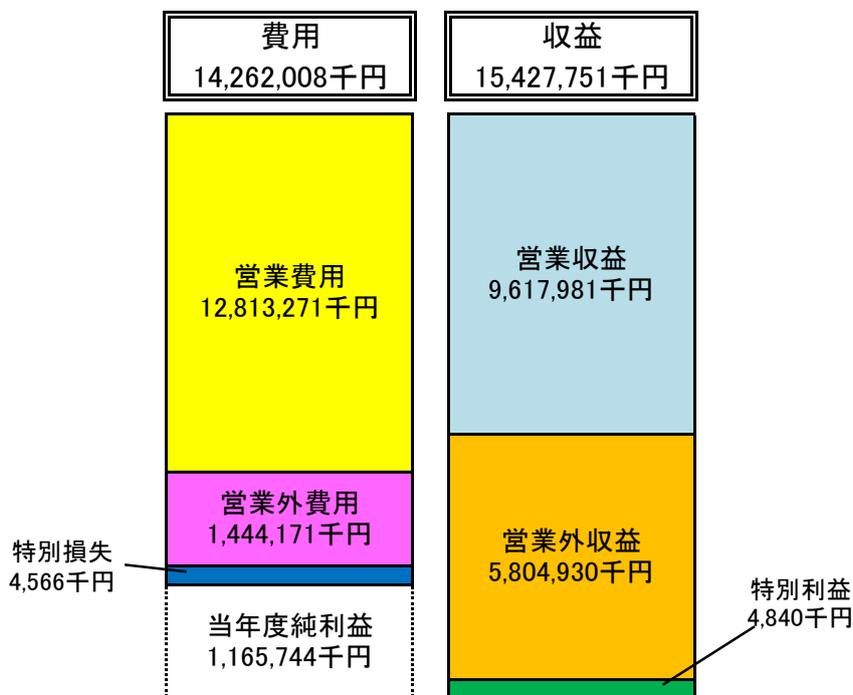


損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位: 千円 (税抜)

費用の部		収益の部	
営業費用	12,813,270	営業収益	9,617,981
管渠費	719,537	下水道使用料	4,759,067
ポンプ場費	998,147	負担金	4,537,106
処理場費	885,033	受託事業収益	85,827
都市下水路費	189,232	その他	235,981
業務費	880,487	営業外収益	5,804,930
総係費	241,946	他会計補助金	1,552,438
普及促進費	75,484	長期前受金戻入	4,209,277
受託費	85,263	貸倒引当金戻入額	28,187
減価償却費等	8,738,141	その他	15,028
営業外費用	1,444,171	特別利益	4,840
支払利息	1,041,597	過年度損益修正益	4,763
その他	402,574	その他特別利益	77
特別損失	4,566		
過年度損益修正損	4,566		
費用の部合計	14,262,007	収益の部合計	15,427,751
当年度純利益	1,165,744		
合計	15,427,751	合計	15,427,751

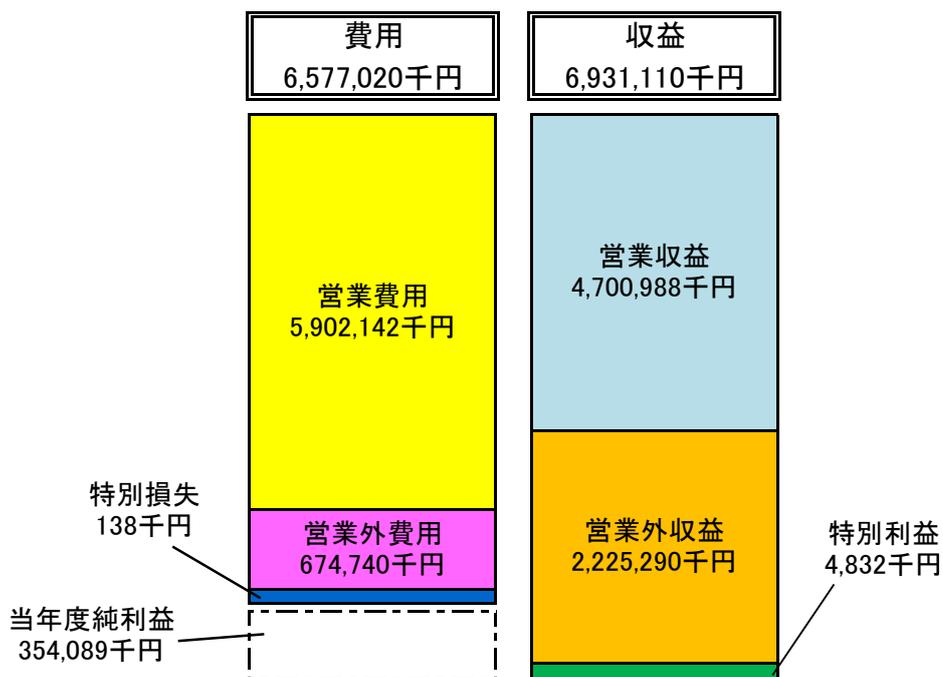


損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、当該年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

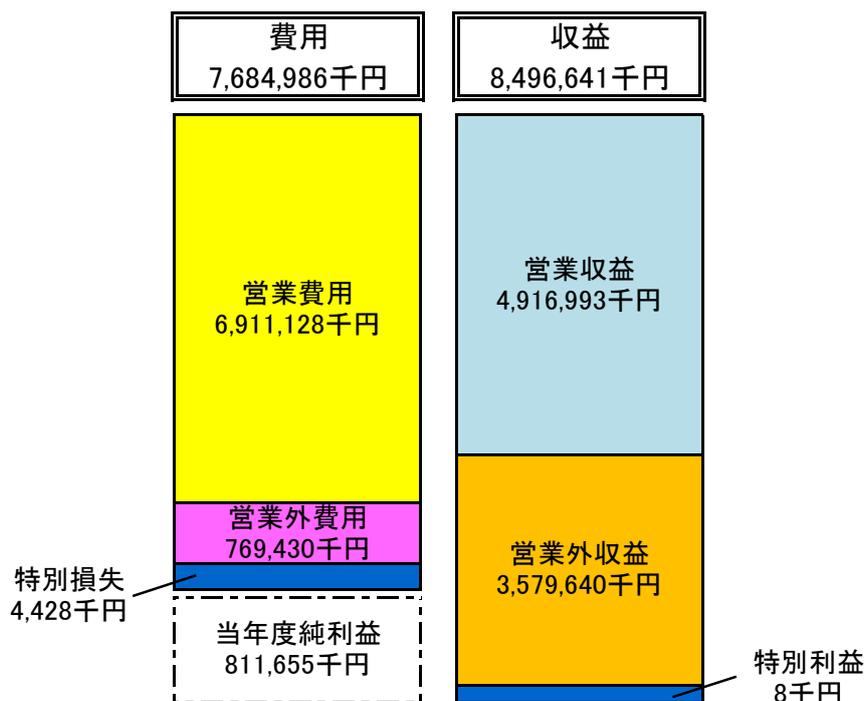
令和4年度は収益が費用を上回り、1,165,744千円の当年度純利益となりました。この利益は下水道の整備に伴い借り入れた企業債の元金償還に充てています。

損益計算書を雨水・汚水別にすると以下の通りです。

雨水



汚水

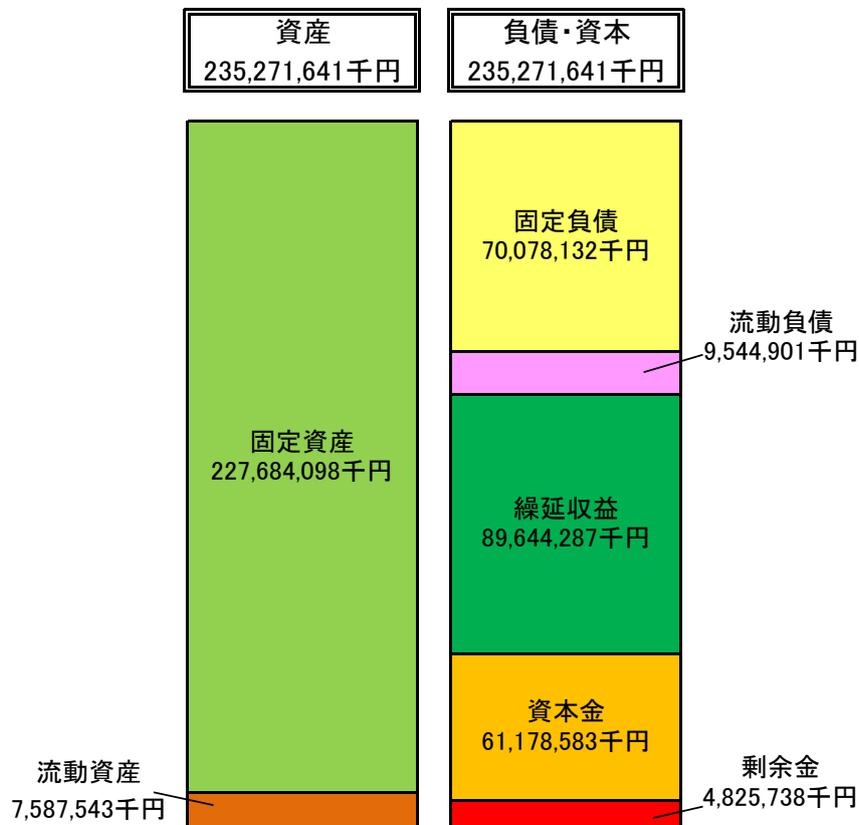


貸借対照表

(令和5年3月31日)

単位:千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	227,684,098	固定負債	70,078,132
有形固定資産	220,860,961	企業債	68,802,078
無形固定資産	6,819,123	引当金	1,276,054
投資	4,014	流動負債	9,544,901
流動資産	7,587,543	企業債	5,059,715
現金預金	6,168,255	未払金	4,417,082
未収金	813,178	引当金	46,837
前払金	606,110	その他	21,267
		繰延収益	89,644,287
		長期前受金	89,644,287
		資 本 の 部	
		資本金	61,178,583
		自己資本金	61,178,583
		剰余金	4,825,738
		資本剰余金	2,202,249
		利益剰余金	2,623,489
資 産 合 計	235,271,641	合 計	235,271,641



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和5年3月31日現在、資産（正の財産）のうち97%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。